

平成27年度 えりも高校第2回授業評価アンケート結果分析

アンケート実施期間：12月7日～16日

質問項目（各教科・科目共通）

教科担任 に関する 項目	①	授業のねらいを明確にしている。
	②	教え方や説明・指示はわかりやすい。
	③	授業の進め方・速さはちょうどよい。
生徒自身 に関する 項目	④	授業規律を守って学習している。
	⑤	授業に積極的・主体的に参加している。
	⑥	授業で基礎的・基本的な知識や技能が習得できている。

○生徒の評価

4～1の段階で評価する。

4	そう思う。
3	どちらかというと思う。
2	どちらかというと思わない。
1	思わない。

○評価の段階

生徒の評価の平均を以下の評価とする。

4以上	A評価
3.25以上	B評価
2.5以上	C評価
2.5未満	D評価

国語科

<p><b>1 評価が高かった項目について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①（全学年）授業や、単元目標を明示しているのが功を奏した。</li> </ul> <p><b>2 評価が低かった項目について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤⑥（古典 全学年）⑤「積極性・主体性」が不十分であるため、⑥「基礎的・基本的な知識や技能」が低下しているのではないか。</li> <li>③（古典B 2年）授業の進み具合が「遅い」という意見が多かった。</li> </ul> <p><b>3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に参加できる授業作りを工夫する。</li> <li>授業進度については、全体を見つつ進度を上げる工夫をする。</li> <li>宿題を出すなどして、基本的な知識や技能を習得できるようにする。</li> </ul>
--

地歴公民科

<p><b>1 評価が高かった項目について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時の目当てを明確にすることで、学習の見通しがつきやすいのだと感じる。</li> </ul> <p><b>2 評価が低かった項目について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界史Aについて、評価がBであった。説明を簡潔にするなど、要点をわかり易くする用心がほしい。</li> </ul> <p><b>3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本史の板書が高い評価を得られている様子である。</li> <li>前回の結果に比べ、公民科の科目に対する評価が上がった。</li> </ul>
---

## 数学科

### 1 評価が高かった項目について

- ・①②③④⑤は概ねできている。

### 2 評価が低かった項目について

- ・2年生の教室クラスで⑥がB評価である。

(改善策) 指導内容の精選を行う。週末の課題と小テストをこれまで通り行い、再テスト・振り返り学習を理解できるまで繰り返し行っていく。

### 3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

- ・特になし。

## 理科

### 1 評価が高かった項目について

- ・①は今後も継続して、授業のはじめに狙いを明示する。
- ・④は比較的よい状態を保っているが、今後崩れないように、挨拶をしっかりすることや、私語をしないことなど授業規律を守っていく。

### 2 評価が低かった項目について

・②③ 問題を解く速度、ノートを書く速度の個人差が大きいため、授業のペースに追いつけない生徒が理解できないままになっている。ノートをとる時間、問題を解く時間、説明時間を明示して、生徒に授業のペースを定着させるようにする。

- ・⑥ 家庭学習の不足が感じられるため、課題を出して家庭学習を定着させる。

### 3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

- ・えりも中学校での実験授業などを行う。これを通じて中高の連続的な理科教育を行いたい。
- ・幅広い学力差に対応できるよう、達成度に応じた授業や問題演習を取り入れていく。
- ・授業中の発問を多くし、知識の定着をはかりたい。

## 保健体育科

### 1 評価が高かった項目について

- ・今後も生徒の学習意欲が高まる授業を実践する。

### 2 評価が低かった項目について

- ・⑥は個人の課題を明確にさせて学習に取り組ませる。

### 3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

- ・言語活動を積極的に取り入れていく必要がある。

## 英語科

### 1 評価が高かった項目について

- ・④ 授業規律は、全学年全科目においてA評価であった。
- ・今後も、授業規律が崩れていかないように、メリハリをつけた授業展開を継続していきたい。

### 2 評価が低かった項目について

- ・⑥ 全学年でB評価が見られる科目がある。特に習熟度別クラスの下位層のクラスで、基礎的・基本的な知識や技能が身につけていないと感じている生徒が多いようである。（一科目ではC評価であった。）
- ・少人数授業という特性を活かし、反復学習を通して基礎部分の定着を図る取組を行っていきたい。

### 3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

- ・今後も単語テストの実施などを行い、基礎基本事項の定着に努める。

## 家庭科

### 1 評価が高かった項目について

- ・学習規律と積極的に学ぶ項目は良かった。授業規律を第一に重視し、担任と連携を取り、生徒のその重要性を細やかに指導した。
- ・主体的に学ぶ、積極的に学ぶ姿勢は、評価と学習目標の一体化した自己評価シートを導入した結果でもあると思われる。アクティブラーニング形式を取り入れ、学習効果も上がったと思われる。

### 2 評価が低かった項目について

- ・説明や指示は、現在改善中である。指示、説明を繰り返し徹底させることも今後重視していく。特に、単元の全体と基本的な知識の関連を理解する力をつけるため、重要ポイントを繰り返し説明していく。

### 3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

- ・一部のクラスが一時期、落ち着かず、規律が乱れたが、担任と連携し、改善がみられた。今後も継続して指導していく。一部の選択科目では、生徒の要望と教科の内容が後半一致しなかったため、授業内容を改めて生徒に理解させ取り組んだ。

## 情報科・商業科

### 1 評価が高かった項目について

- ・すべての科目でA評価がついた。今後も積極的な取り組みを促す指導をしていく。

### 2 評価が低かった項目について

- ・低かった項目はなかったが、生徒の実態を踏まえ、よりよい授業のために工夫改善を図る。

### 3 その他に気付いた点や、今後行っていきたい活動

- ・生徒の実態をみて改善すべきところを随時見直していく。